

岐阜県森林研究所は、「木製治山構造物技術指針」をまとめた。耐久性を必要とする治山構造物への木材活用の指針で、東京農工大学などと共同で研究に取り組んだ。

木と石を主な材料とする木製の治山構造物は、環境にやさしく、木材利用の拡大につながるが、木材の劣化に伴う耐久性の評価方法など、設計者や管理者が必要とする技術情報が不足しているこ

とが利用拡大の障害となっていた。

同指針では、これまで

## 岐阜県森林研究所 木製治山構造物 技術指針まとめる 県産材利用拡大へ

報をまとめている。この指針を活用することで、経済的で合理的、さらに適切な木製治山構造物の設計・施工と維持管理が可能で、県産材の利用拡大が期待できる。

指針は、「第1章総説」「第2章調査・計画」「第3章設計方法」「第4章施工方法」「第5章維持管理方法」で構成されている。森林研究所のホームページからダウンロードできる。

困難だった耐久性の評価について、設計・施工・維持管理に必要な技術情